

未来を開く

長井市立長井北中学校

No61 令和3年11月26日

学校訪問視察がありました

11月22日(月)、長井市教育委員会による学校訪問視察がありました。来校された教育委員会の皆様は次のとおりです。

教育長	土屋正人	様
教育長職務代理者	遠藤倫夫	様
教育委員	齋藤暁美	様
教育総務課長	佐藤秀人	様
学校教育課長	目黒孝博	様
子ども未来創造主査	今野透	様



この度の訪問の目的は、長井市教育施策にそって学校教育の進捗状況を確認するとともに、現状等を直接見聞してご指導いただき、学校教育の一層の充実を図ることです。当日は校内を一巡していただき



授業の様子と施設の状況を見ていただきました。

委員の方々からは

- ◆どの学年も集中して授業に向かっている。
- ◆落ち着いた中で生活ができている。
- ◆働き方改革を一層進め、教職員と生徒の生きる力の一層の充実に努めてほしい。
- ◆生徒一人一人にそった声かけや指導など、一律から個別の対応が求められている。
- ◆学力向上は学校にしかできない。個々の力が一層伸びるよう、支援を継続してほしい。

など、お褒めの言葉と激励をいただきました。

今後に向けて貴重なご助言も頂戴しました。ご指導いただいたことをもとに、これからもよりよい学校づくりに、教職員ともどもに頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



雪に備えて！（通学方法の再確認です）

路面凍結、降雪時、降雪が予想されるときは、自転車通学禁止になります。『その時間で、8時5分に間に合いますか？』ぜひご家庭で確認をお願いします。

カギは、コミュニケーション!

ソーシャルメディアの利用で、
自分・家族が被害にあわない・あわせないために

11月24日(水)、「令和3年度学校保健委員会」が本校で開催されました。学校保健委員会は、法的に開設が義務付けられた組織で、次のように定義されています。

「学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織である。学校保健委員会は、校長、養護教諭、栄養教諭などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし保健主事が中心となって運営する。」

本校では、次の方々をメンバーに、開催していただきました。

役職名	氏名	役職名	氏名
学校医	外田 博貴さん	PTA会長	深澤 賢一さん
学校歯科医	五十嵐康夫さん	PTA副会長	岡田 茂さん
学校薬剤師	工藤 隆さん	PTA副会長	平田 龍志さん
長井市健康課 保健師	渡部和喜子さん	PTA副会長	小野 卓也さん
長井市健康課 保健師	飯澤 莉紗さん	一学年部長	橋本 祐二さん
長井市教育委員会 学校教育課	佐藤 愛美さん	二学年部長	我妻 昇さん
長井市共同調理場 栄養教諭	佐藤 朋江さん	三学年部長	梅津 禎和さん
学校から、校長、教頭、養護教諭、 教務主任、各学年主任、保健安全指 導部長が参加しました。		PTA育成部部长	高橋 誠さん
		PTA母親委員長	佐々木綾子さん



最近、幼児期からのスマホ依存や思春期にスマホを使い過ぎることによる脳に与える悪影響、などが取りざたされるソーシャルメディア。

その適切な利用について、本校の生徒と保護者に実施したアンケートをもとに、各委員会からいただいたご意見を紹介いたします。

- PTAとして話題にしながら、大人がもっと勉強しなければならない。
- スマホ利用にともなう歩行者への加害事故や自己被害。犯罪として刑事責任や賠償責任が問われることもある。親と学校の協調が欠かせない。
- 「ダメ!ダメ!」の一辺倒では、解決にならない。自己責任も含め、預けた親の見届けと対応が必要である。

外田先生、五十嵐先生、工藤先生からは次のようなご指導をいただきました。

- ◎スマホの利用は、これからも永遠のテーマとなる。「便利」を知り「コントロール」が不可欠。そのために、親子が何でも話せる関係性が大事である。直接の対話「コミュニケーション」を一層大切に!
- ◎和訳や英訳はすでに Google でボン! の時代。アウトメディアからコントロールへと、親の認識が進んでいるのは良い傾向である。
- ◎新型コロナウイルス感染予防の認識が薄れてきていないか不安。インフルエンザの感染予防にも注意が必要である。

